

歴代会長

初代	斎藤 省吾	(昭和28年10月～昭和33年4月)
二代目	鳥山 賢次郎	(昭和33年 5月～昭和37年5月)
三代目	篠 金四郎	(昭和37年 6月～昭和59年9月)
四代目	早船 二郎	(昭和59年10月～平成16年7月)
五代目	友田 博隆	(平成16年 8月～平成21年3月)
六代目	篠 正義	(平成21年 4月～平成24年4月)

現役員

会長	岡田 勲夫	会計	井上 武
副会長	伊藤 忠 (主として「防犯」担当)		伊藤 直子
	武井 輝和 (主として「防災」担当)	監事	竹内 道男
	中田 佳子 (主として「婦人部門関連・庶務」担当)		渡辺 泰成

「町会のあゆみ」と「現況」

(1) 鷺宮四丁目の歴史と地名の変遷

野方村と中野村の合併により中野区が誕生する昭和7年までは現四丁目の大部分を占める高台に位置する「豊玉郡野方村大字上鷺宮中内出」と「中内出」の南側から妙正寺川までの低地に位置する「豊玉郡野方村大字上鷺宮字根が原前」と称される二地域が地名の原点である。尚、町会の北限は「新青梅街道旧道」。

(2) 町会の歴史

終戦後の混乱期が漸く安定してきた昭和28年に初代会長斎藤省吾氏の呼びかけにより同志が集まり結成。その後会員数の増加が順調に推移したが、三代目篠金四朗会長時代(昭和40年)に現白鷺三丁目町会の約300世帯部分が分離独立し現在に至る。

(3) 町会の紹介

鷺ノ宮駅南側を流れる妙正寺川の袂からはいつも雄大な富士山を眺望できた「さぎのみや」だが、都市化の進行とともにそれは叶わぬこととなった。一方、旧来住民の老齢化と集合住宅居住若者世帯の増加とともに住民の二極化がますます進行している。町会はおおむね「西武新宿線」「中杉通り」「新青梅街道旧道」に挟まれる三角地帯を以て構成されるが、「中杉通り」の朝夕の混雑と「西武新宿線」の開かずの「鷺ノ宮駅踏切」の存在により町自体の発展がおおいに阻害されている感あり、これが問題の根本的な早期解決が望まれる。

(4) 町会の目指すところ

「**伝統を誇りに思う 住みやすく 住みつづけたい町 さぎのみや**」を目指し、日常的に「防災」および「防犯」の強化に力を入れる。「防災」の面では、大災害発生時の避難所開設に発生するであろう不測の混乱を回避するための事前訓練の毎年定期実施、「防犯」の面では、「町内パトロール」毎月4回(毎回10名前後の規模)と「青パト」毎月4回の定期実施をパターン化するとともに、高齢・独居老人世帯への「見守りパトロール」も併せ実施する。尚、「町内に防犯カメラ16台を設置」すると4年計画を策定、本年度はその初年度分4台の設置を完了させた。